

第9回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】ITを活用した情報共有・連携について、県央地域での観光の推進について、コミュニティセンターの運用について、離職者等に対する就職支援について

《ITを活用した情報共有，連携について》

・私は、村と民間が協働で取り組む事業に参加していますが、皆仕事をしながらのボランティアのため、連絡が不十分になりがちです。是非、スケジュール調整や意見交換ができるITツールの導入を検討して欲しいです。

《県央地域での観光の推進について》

・先日新聞で、県央地域が連携して観光を推進することを初めて知りました。このような話も、事業に参加している人たちに情報提供し、皆が連携して動けるよう情報を共有すべきと思います。

《コミュニティセンターの運用について》

・村公式ホームページでは、コミュニティセンターが1頁にまとめられてしまい、利用料金さえ直接問い合わせないと分かりません。以前のように、webで予約等ができるよう改善して欲しいです。

《離職者等に対する就職支援について》

・離職者や引きこもりの方に仕事を作りたいと考えています。役場でも是非、そのような方たちへの支援をして欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

《ITを活用した情報共有，連携について》

・役場のシステムは管理がシビアになっていますが、情報のやり取りはできるだけオープンにしたいと考えています。まずは、担当課に確認したいと思います。

《県央地域での観光の推進について》

・県央地域での観光推進は、県央地域首長懇話会(座長:水戸市長 高橋 靖)で、首長同士の話し合いにより取り組むこととなったもので、行政内部の話でもあり、全てを皆さんに連絡しているわけではないと思います。連携には、様々な部署等が集まって話し合いができる場が必要だと思います。貴重な御意見として伺います。

《コミュニティセンターの運用について》

・貴重な御意見として伺います。

《離職者等に対する就職支援について》

・貴重な御意見として伺います。

【2】バスの運行ルート(案)について

・このたび示されたバスの運行ルート(案)では、私たちの地区は外されています。私たちの地区にもバスを走らせるよう、是非、運行ルート(案)を見直して、利便性を高めて欲しいです。また、路線バスよりも、コミュニティバスを走らせて欲しいです。村として調べていることを、私たちに教えて欲しいと思います。

・バスを走らせる際には、例えば、乗車すれば一律100円にするなど、いかに料金を安くするかも検討して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

・このたびのバス運行は、あくまでもバス会社のバス路線で、事業者が自主的にバス事業を行うものです。今後、どのようにしていくかは考えていきますし、運行ルートも半年後に見直すことに

なっています。コミュニティバスは理想ですが、現在運行しているデマンドタクシーに加えてコミュニティバスも運行すると、相当のお金がかかります。まずは路線バスを走らせて、様子を見たいと考えています。

- ・料金については、バス会社の料金体系があるため、それに村が支援するかどうかだと思います。デマンドタクシーは1回300円のため、その兼ね合いも考える必要があります。

【3】 村内の精神障がい者の雇用について

- ・私は、精神障害2級です。昨年3月の退職後、ハローワークで職探しをしましたが、求人はあるものの精神障がいは不可の場合が多く、応募した会社は全て断られてしまいました。また、精神障がい者が職に就いた場合、状態が軽くなったと見られて、障害年金がカットされてしまいます。制度のハザマで生きている方も多いと思うので、精神障がい者の働く場について、是非、検討して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

- ・精神障がい者の就労については様々な課題があり、就労支援の充実が必要だと考えておりますが、例えば、今すぐに村のチャレンジUP雇用事業に精神障がい者を入れることや、精神障がい者への生活支援を行うにしても、なかなか難しいところがあります。村としても、障がい者に対するプランがありますので、精神障がい者の雇用についても検討していきたいと思っております。

【4】再処理施設の防潮堤の建設について、広域避難計画への住民の声の反映について

《再処理施設の防潮堤の建設について》

- ・再処理施設やJ-PARCには、防潮堤がありません。特に、再処理施設には早急に防潮堤を作るよう、日本原子力研究開発機構に対し、強く申し入れをして欲しいです。

《広域避難計画への住民の声の反映について》

- ・行政と住民が意見交換する場を設けて欲しいです。行政だけが作成に関わるのではなく、住民の意見、特に病院や高齢者施設などにいる避難行動要支援者の方の声を、よく聞き入れて、計画に生かして欲しいです。100%できてこそその計画だと思います。

⇒ 【村長コメント】

《再処理施設への防潮堤の建設について》

- ・貴重な御意見として伺います。

《広域避難計画への住民の声の反映について》

- ・現在、担当課で計画案を作成しており、今後、説明会等で住民の皆さんから御意見をいただき、ブラッシュアップしていくことを考えています。住民の不安や懸念を全て計画に盛り込むのか、行動マニュアルのようなものに分けるのかは検討する必要があります。最終的には、住民の皆さんが、どこで何をすれば良いか分かることが重要です。貴重な御意見として伺います。

【5】 県議選候補者の応援について、広域避難計画について

《県議選候補者の応援について》

- ・村長は、原発の再稼働について中立を保っていたはずなのに、先般行われた県議選では、再稼働推進派を応援しました。その理由を教えてください。

《広域避難計画について》

- ・再稼働推進派と反対派が対話できる妥協点は、広域避難計画だと思います。県の避難計画では避難先が決まっておらず、村で考えなければなりません。また、日中は、多くの家庭で家族がいる場所が違うので、分かれて避難することになります。病院患者の受け入れ先もどうするのかなど、突き詰めれば、広域避難計画はできる訳が無いと思います。

⇒ 【村長コメント】

《県議選候補者の応援について》

・候補者の応援は、トータルで考えて行ったものです。応援した方は確かに自民党員ですが、再稼動を色濃く主張している訳ではありません。物事を慎重に考えている方と思っています。

《広域避難計画について》

・広域避難計画は、住民の意見や心配を踏まえて、どこまで書き込めるかだと思います。今、担当課で計画案を作っており、今後、説明会等で皆さんから御意見をいただき、ブラッシュアップしていくことを考えています。家族まとまったの避難や避難行動要支援者への対応など、課題は多いですが、事務的には、県内3市に3万8千人を確保することなどが進んでいます。